

## 原子力発電産業界における位置検出型ガンマ線画像スペクトロメータに関するワーキンググループ

室温動作のガンマ線画像スペクトロメータは、保健物理学や原子力発電産業界の放射線部門にとって今や入手しやすいものであり、大量に存在する可搬式の道具である。これらのシステムの利用についての関心が高まるにつれ、画像スペクトロメータについて経験豊かな使用者と技術専門家が、その最適な運用と適用に関して相互に有益な議論をするために、保健物理学者への需要が高まってきている。北米技術センター（NATC）は、分析および技術的サポートについてのネットワークを提供するために、原子力発電所と画像システムの製造者それぞれの代表者が連携する組織を作った。このワーキンググループの最初の会合から約6か月を経て、経験豊かな使用者もそうでない使用者も、ワーキンググループのメンバーが集めた調査結果等により、線量低減や機器の適用に関する進歩を得ている。